



マンホールからこんにちは

いとうひろし 作

徳間書店 2002年(初版1990年福武書店)
1400円

おつかいの帰り道、ぼくが角を曲がると、道の真ん中に電信柱が立っていました。ところが、それはマンホールから首だけ出した迷子のきりんでした。それから、ぼくが角を曲がるたび、マンホールの向こうから、マンモスや河童など、不思議な迷子たちが次々と顔を出し…。



ミオよ わたしのミオ

リンドグレーン 作

イロン・ヴィークランド さし絵

大塚勇三 訳

岩波書店 1967年 2200円



養父母のもとで、つらい日々を送っていた少年ポッセは、ある日魔神に連れられ、「はるかな国」へとたどり着きます。そこで本当の父に会い、自分が王子ミオであることを知りました。やがてミオは、王国の子ども達を連れ去り、鳥に変えてしまった残酷な騎士カトーと戦うため、白馬ミラミス、親友ユムユムとともに、「外の国」へと旅立ちます。



ミス・ヒッコリーと森のなかまたち

キャロライン・シャーウィン・ベイリー 作

ルース・クリスマン・ガネット 画

坪井郁美 訳

福音館書店(福音館文庫)

2005年(初版1975年) 650円



ミス・ヒッコリーは、リンゴの小枝とヒッコリーの実でできたお人形です。ある日、持ち主の女の子に置き去りにされ、住み慣れた家を失ってしまい、仕方なく果樹園の木にかかっているコマドリの巣で冬を越すことになりました。さまざまな動物たちや豊かな森の恵みにふれ、頑固で強情なミス・ヒッコリーの暮らしは少しずつ変化していきます。